

# 企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2012年3月調査）

2012年4月

株式会社 日通総合研究所

## 目 次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向 .....	3
2. 輸送機関利用の動向 .....	7
(1) 一般トラック .....	8
(2) 特別積合せトラック .....	9
(3) 宅配便 .....	10
(4) 鉄道コンテナ .....	11
(5) 内航コンテナ .....	12
(6) 国内航空 .....	13
3. 輸出入貨物量の動向 .....	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー .....	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー .....	16
(3) 国際航空 ー輸出ー .....	17
(4) 国際航空 ー輸入ー .....	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向 .....	19
(1) 在庫量 ー原材料ー .....	20
(2) 在庫量 ー製品ー .....	21
(3) 営業倉庫保管量 .....	22
5. 運賃・料金の動向 .....	23
(1) 一般トラック運賃 .....	24
(2) 特別積合せトラック運賃 .....	25
(3) 鉄道コンテナ運賃 .....	26
(4) 内航コンテナ運賃 .....	27
(5) 国内航空運賃 .....	28
(6) 営業倉庫保管料金 .....	29
6. 物流コスト割合の動向 .....	30

## I. 調査の内容

**目的** : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

**方法** : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標<sup>(\*)</sup>とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[ \begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[ \begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(\*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

**調査対象** : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

## －今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2012年1～3月の実績と2012年4～6月の見通しを3月初旬時点でうかがったものであり、1,075社からご協力をいただき、回答率は43.0%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

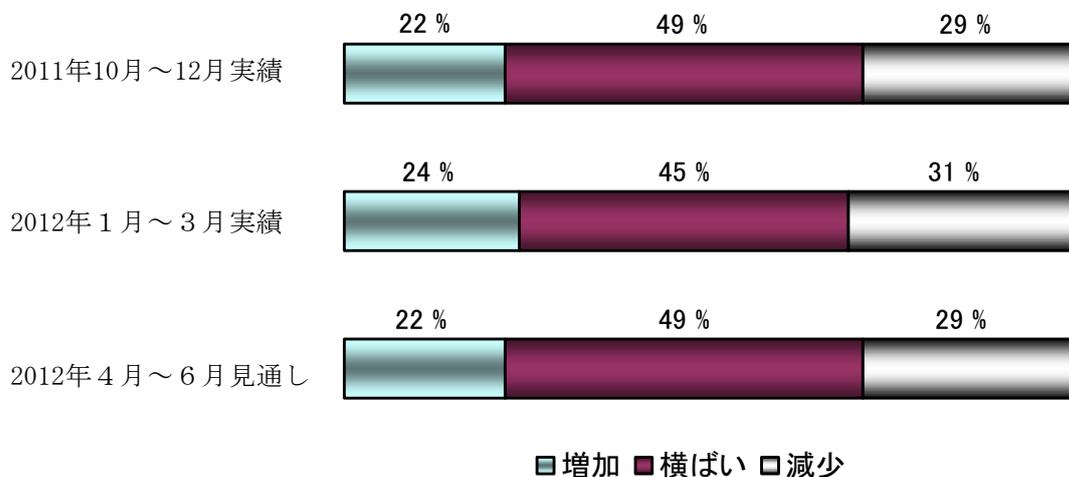
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	104	44.8
	繊 維 ・ 衣 服	111	48	43.2
	木 材 ・ 家 具	96	44	45.8
	パ ル プ ・ 紙	107	43	40.2
	化学・プラスチック	239	120	50.2
	窯 業 ・ 土 石	102	43	42.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	103	52.8
	金 属 製 品	128	53	41.4
	一 般 機 械	222	100	45.0
	電 気 機 械	333	129	38.7
	輸 送 用 機 械	250	97	38.8
	精 密 機 械	67	22	32.8
	そ の 他	167	61	36.5
	計	2,249	967	43.0
卸 売 業	生 産 財	124	60	48.4
	消 費 財	127	48	37.8
	計	251	108	43.0
合 計		2,500	1,075	43.0

## Ⅱ. 調査の結果

### － 1. 国内向け出荷量の動向－

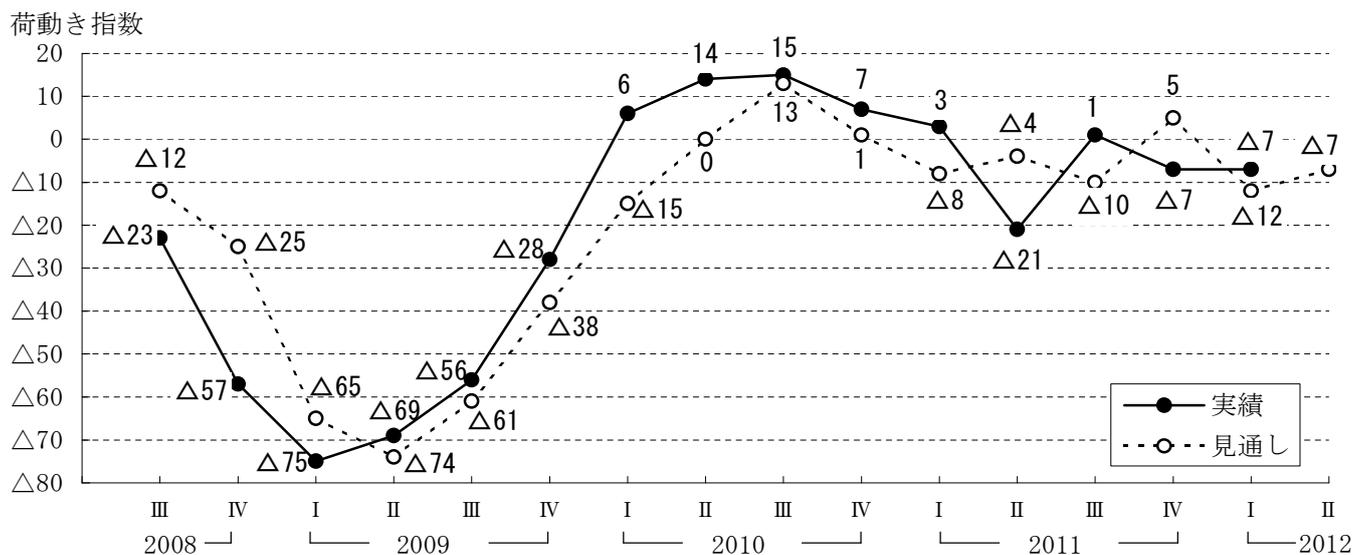
- 2012年1～3月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2011年10～12月）実績より2ポイント上昇し24%となった。また、「減少」との回答も前期より2ポイント上昇し31%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は横ばいで推移して△7となった。
- 2012年4～6月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2012年1～3月）実績（見込み）より2ポイント低下し22%となり、また「減少」との回答も2ポイント低下し29%になる。この結果『荷動き指数』は横ばいで推移して△7と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



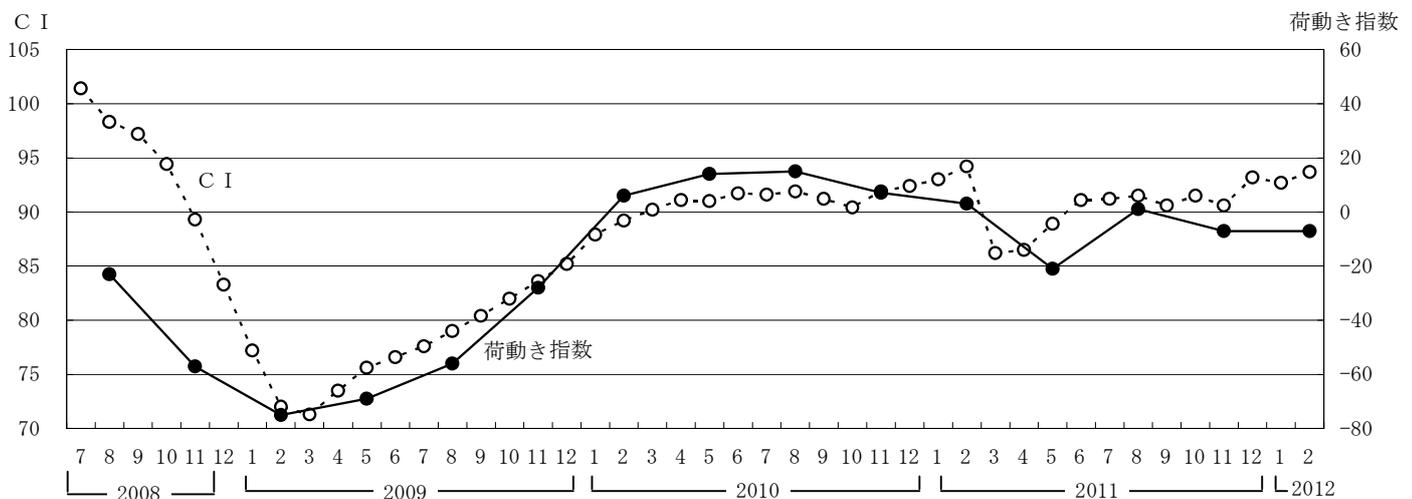
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2011年4～6月実績では、東日本大震災の影響を受けて、『荷動き指数』が△21と6期ぶりにマイナスに転じたが、サプライチェーンが復旧した7～9月実績において、V字型の回復によりプラス水準へと浮上した。しかし、10～12月実績で△7と再びマイナスに沈んだあと、2012年1～3月実績（見込み）では横ばい、さらに4～6月見通しにおいても横ばいが見込まれており、荷動きの停滞が続いている。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2012年II期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2012年I期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

景気動向指数 (C I ; 一致指数) と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。  
2. 景気動向指数研究会によると、第14循環における景気の山は2008年2月、景気の谷は2009年3月となっている。

■ 2012年1～3月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、輸送用機械など6業種がプラス、パルプ・紙、化学・プラスチックなど9業種がマイナスとなった。

■ 2012年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、9業種で前期（2012年1～3月）実績（見込み）よりも『荷動き指数』が上昇する一方、6業種で下降するなど、業種により跛行性がみられる。食料品・飲料など6業種がプラス、精密機械がゼロ水準で、パルプ・紙など8業種がマイナスと見込まれ、依然として広範囲の業種で荷動きの停滞がみられる。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	104	33	47	20	13	101	31	55	14	17
	繊維・衣服	48	23	50	27	△4	48	19	54	27	△8
	木材・家具	44	36	41	23	13	43	30	42	28	2
	パルプ・紙	42	7	40	53	△46	42	12	45	43	△31
	化学・プラスチック	118	10	43	47	△37	117	16	50	34	△18
	窯業・土石	43	16	42	42	△26	43	12	51	37	△25
	鉄鋼・非鉄	101	27	42	31	△4	100	30	46	24	6
	金属製品	51	31	31	38	△7	51	24	51	25	△1
	一般機械	98	23	44	33	△10	97	18	41	41	△23
	電気機械	127	24	38	38	△14	128	17	44	39	△22
	輸送用機械	95	38	48	14	24	92	35	39	26	9
精密機械	22	32	45	23	9	21	24	52	24	0	
その他	61	25	52	23	2	61	25	56	19	6	
計	954	25	43	32	△7	944	23	47	30	△7	
卸売業	生産財	60	27	50	23	4	60	25	58	17	8
	消費財	48	10	61	29	△19	48	16	63	21	△5
	計	108	19	55	26	△7	108	21	60	19	2
合計	1,062	24	45	31	△7	1,052	22	49	29	△7	

■ 2012年1～3月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、北海道および東海でプラスを示し、残り7地域ではマイナスとなった。なかでも、関東、北陸・信越、四国では2ケタのマイナスを示し、荷動きの減退が顕著である。

■ 2012年4～6月の見通しでは、4地域で『荷動き指数』が上昇する一方、逆に4地域では悪化が見込まれるなど、地域により跛行性がみられる。プラスの地域は前期（2012年1～3月）実績（見込み）と同様、北海道および東海の2地域にとどまり、荷動き回復の動きは限定的である。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

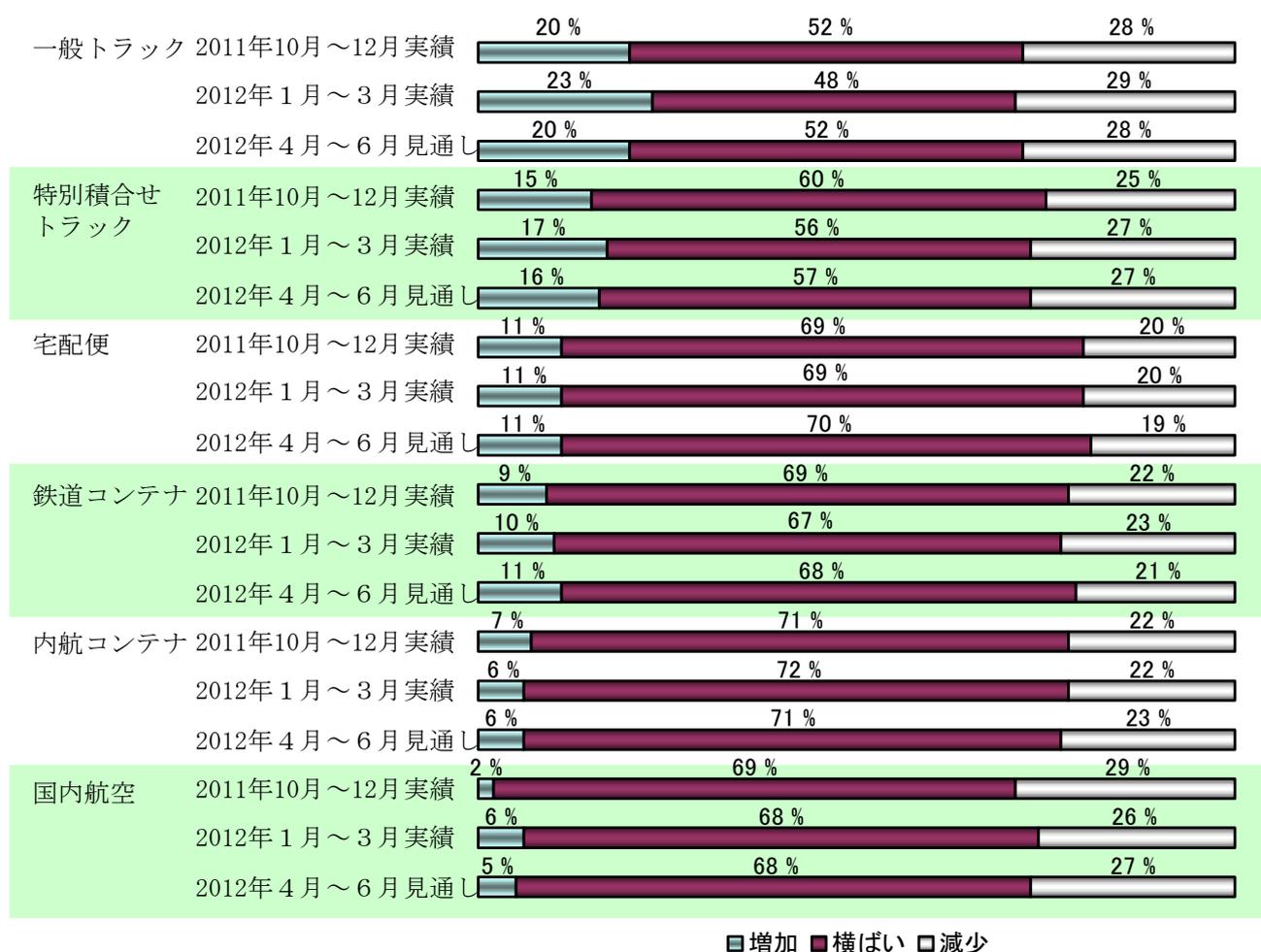
地 域	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	53	26	55	19	7	53	26	57	17	9
東 北	89	24	48	28	△ 4	88	23	52	25	△ 2
関 東	262	24	37	39	△ 15	257	23	47	30	△ 7
北 陸 ・ 信 越	108	25	40	35	△ 10	109	23	39	38	△ 15
東 海	164	35	40	25	10	161	32	42	26	6
近 畿	148	22	48	30	△ 8	148	17	53	30	△ 13
中 国	101	20	52	28	△ 8	101	21	50	29	△ 8
四 国	63	17	50	33	△ 16	62	15	56	29	△ 14
九 州 ・ 沖 縄	74	20	54	26	△ 6	73	18	56	26	△ 8
合 計	1,062	24	45	31	△ 7	1,052	22	49	29	△ 7

## － 2. 輸送機関利用の動向－

■ 2012年1～3月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、すべての輸送機関においてマイナスとなった。前期（2011年10～12月）実績との比較では、一般トラックおよび国内航空で改善がみられる一方、内航コンテナでは僅かながら低下し、残りの3輸送機関では横ばいで推移した。

■ 2012年4～6月の見通しでは、宅配便および鉄道コンテナで小幅ながら『利用動向指数』が改善する一方、残りの4輸送機関では低下が見込まれる。この結果、いずれの輸送機関においても、利用回復に向けての足取りは引き続き重いものとみられる。

各輸送機関の利用の実績と見通し



## (1) 一般トラック

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具、輸送用機械など4業種がプラス、精密機械および生産財卸がゼロ水準で、パルプ・紙、化学・プラスチックなど9業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△6で、前期（2011年10～12月）実績からは2ポイント上昇した。

■ 2012年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、生産財卸がプラスに浮上し、その他の製造業もゼロ水準まで戻す一方、精密機械がマイナスに落ち込むほか、一般機械や電気機械などのマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は2ポイント低下して△8と見込まれ、利用の減退が続くものとみられる。

### 一般トラック利用の実績と見通し

業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	101	29	47	24	5	100	26	59	15	11
	繊維・衣服	38	16	55	29	△13	38	15	53	32	△17
	木材・家具	42	36	48	16	20	41	32	39	29	3
	パルプ・紙	43	9	42	49	△40	42	12	48	40	△28
	化学・プラスチック	120	9	48	43	△34	119	11	59	30	△19
	窯業・土石	40	19	43	38	△19	40	7	55	38	△31
	鉄鋼・非鉄	100	28	45	27	1	97	30	49	21	9
	金属製品	52	30	33	37	△7	52	19	58	23	△4
	一般機械	97	22	51	27	△5	95	15	48	37	△22
	電気機械	119	25	38	37	△12	118	15	44	41	△26
	輸送用機械	93	39	51	10	29	90	37	40	23	14
精密機械	20	20	60	20	0	19	11	63	26	△15	
その他	60	20	55	25	△5	58	21	58	21	0	
計	925	24	46	30	△6	909	20	51	29	△9	
卸売業	生産財	55	22	56	22	0	54	26	56	18	8
	消費財	46	9	61	30	△21	46	17	59	24	△7
	計	101	16	58	26	△10	100	22	57	21	1
合計	1,026	23	48	29	△6	1,009	20	52	28	△8	

## (2) 特別積合せトラック

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具、輸送用機械、精密機械の3業種がプラスで、残り12業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△10で、前期（2011年10～12月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2012年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、生産財卸および消費財卸がプラスに浮上し、食料品・飲料およびその他の製造業もゼロ水準まで戻す一方、輸送用機械がマイナスに沈み、一般機械や電気機械などのマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は1ポイント低下して△11と見込まれ、利用の減退圧力がいくぶん強まるものとみられる。

### 特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	70	19	61	20	△1	70	20	60	20	0
	繊維・衣服	34	21	47	32	△11	34	12	59	29	△17
	木材・家具	31	29	52	19	10	31	29	55	16	13
	パルプ・紙	27	4	63	33	△29	26	15	58	27	△12
	化学・プラスチック	104	9	60	31	△22	103	7	69	24	△17
	窯業・土石	28	21	43	36	△15	28	10	54	36	△26
	鉄鋼・非鉄	59	13	51	36	△23	56	18	48	34	△16
	金属製品	37	22	46	32	△10	37	19	59	22	△3
	一般機械	80	18	56	26	△8	79	15	51	34	△19
	電気機械	95	21	44	35	△14	94	17	45	38	△21
	輸送用機械	69	23	61	16	7	68	22	49	29	△7
精密機械	11	27	64	9	18	10	20	70	10	10	
その他	43	9	77	14	△5	41	15	70	15	0	
計	688	17	56	27	△10	677	16	56	28	△12	
卸売業	生産財	45	20	58	22	△2	44	20	64	16	4
	消費財	29	14	55	31	△17	29	21	62	17	4
	計	74	17	57	26	△9	73	21	63	16	5
合計	762	17	56	27	△10	750	16	57	27	△11	

### (3) 宅配便

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具、輸送用機械、生産財卸の3業種がプラス、繊維・衣服がゼロ水準で、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△9で、前期（2011年10～12月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2012年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服がマイナスに落ち込む一方、過半数の業種で改善がみられた。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△8と強含み横ばいで推移する見込みで、利用の減退傾向に変化はないものとみられる。

#### 宅配便利用の実績と見通し

業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	76	13	69	18	△5	74	12	72	16	△4	
繊維・衣服	41	15	70	15	0	41	7	78	15	△8	
木材・家具	34	24	65	11	13	34	24	71	5	19	
パルプ・紙	23	0	78	22	△22	22	9	64	27	△18	
化学・プラスチック	90	3	75	22	△19	90	5	79	16	△11	
窯業・土石	30	7	70	23	△16	30	3	84	13	△10	
鉄鋼・非鉄	70	6	80	14	△8	69	9	75	16	△7	
金属製品	46	13	57	30	△17	46	13	70	17	△4	
一般機械	96	10	69	21	△11	95	11	60	29	△18	
電気機械	109	14	56	30	△16	109	11	61	28	△17	
輸送用機械	78	21	68	11	10	77	18	66	16	2	
精密機械	21	19	57	24	△5	19	16	58	26	△10	
その他	48	8	71	21	△13	46	8	70	22	△14	
計	762	11	68	21	△10	752	11	69	20	△9	
卸売業	生産財	46	17	70	13	4	45	20	67	13	7
	消費財	35	0	83	17	△17	35	6	77	17	△11
	計	81	10	75	15	△5	80	14	71	15	△1
合計	843	11	69	20	△9	832	11	70	19	△8	

#### (4) 鉄道コンテナ

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料が唯一プラスを示し、繊維・衣服など3業種がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△13で、前期（2011年10～12月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2012年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、一般機械がマイナスに沈む一方、木材・家具がプラスに上昇し、生産財卸もゼロ水準まで戻すなど、過半数の業種において改善が見込まれる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△10と3ポイント上昇する見通しで、利用の減退傾向に変化はないものの、減退圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

#### 鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	50	14	74	12	2	50	18	74	8	10
	繊維・衣服	15	13	74	13	0	15	7	86	7	0
	木材・家具	19	11	78	11	0	19	16	74	10	6
	パルプ・紙	28	7	61	32	△25	27	15	59	26	△11
	化学・プラスチック	84	5	62	33	△28	82	6	73	21	△15
	窯業・土石	13	0	77	23	△23	13	0	62	38	△38
	鉄鋼・非鉄	40	17	55	28	△11	40	17	58	25	△8
	金属製品	21	5	71	24	△19	21	14	62	24	△10
	一般機械	38	11	78	11	0	37	10	68	22	△12
	電気機械	37	16	62	22	△6	37	8	65	27	△19
	輸送用機械	37	14	62	24	△10	37	16	62	22	△6
	精密機械	7	0	71	29	△29	6	0	67	33	△33
その他	29	0	79	21	△21	27	0	74	26	△26	
計	418	9	68	23	△14	411	11	68	21	△10	
卸 売 業	生産財	12	8	67	25	△17	12	17	66	17	0
	消費財	19	16	63	21	△5	19	11	68	21	△10
	計	31	12	65	23	△11	31	13	68	19	△6
合計	449	10	67	23	△13	442	11	68	21	△10	

(5) 内航コンテナ

■ 2012年1～3月実績(見込み)の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、全15業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△16で、前期(2011年10～12月)実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 2012年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械がプラスに浮上し、食料品・飲料もゼロ水準に戻す一方、過半数の業種で『利用動向指数』の悪化が見込まれる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は弱含み横ばいで推移し、利用は引き続き減退する見通しである。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	31	6	75	19	△13	31	6	88	6	0
	繊維・衣服	9	0	78	22	△22	9	0	78	22	△22
	木材・家具	13	0	92	8	△8	13	0	85	15	△15
	パルプ・紙	18	17	50	33	△16	18	5	67	28	△23
	化学・プラスチック	46	0	74	26	△26	45	4	74	22	△18
	窯業・土石	10	0	60	40	△40	10	0	60	40	△40
	鉄鋼・非鉄	21	5	81	14	△9	21	0	71	29	△29
	金属製品	17	11	65	24	△13	17	6	65	29	△23
	一般機械	35	6	74	20	△14	34	5	71	24	△19
	電気機械	30	10	70	20	△10	30	7	63	30	△23
	輸送用機械	27	14	67	19	△5	27	22	59	19	3
	精密機械	5	0	80	20	△20	5	0	60	40	△40
	その他	21	10	71	19	△9	21	5	76	19	△14
計	283	6	72	22	△16	281	6	71	23	△17	
卸売業	生産財	8	12	63	25	△13	8	12	63	25	△13
	消費財	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
	計	16	6	69	25	△19	16	6	69	25	△19
合計	299	6	72	22	△16	297	6	71	23	△17	

## (6) 国内航空

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、繊維・衣服および木材・家具がプラスで、残り13業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△20で、前期（2011年10～12月）実績からは7ポイント上昇した。

■ 2012年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具が水面下に沈み、繊維・衣服もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△22と2ポイント低下する見通しで、国内航空はすべての国内輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退が続く見通しである。

### 国内航空利用の実績と見通し

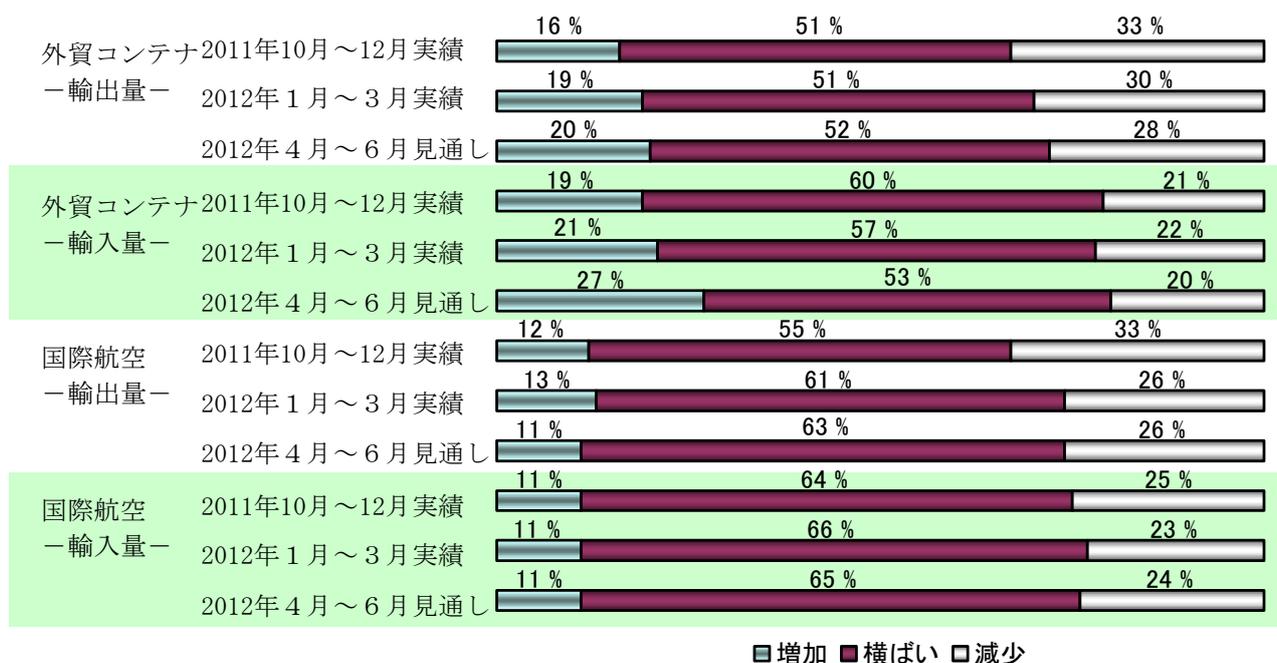
業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	27	4	74	22	△18	27	4	74	22	△18	
繊維・衣服	13	23	62	15	8	13	8	84	8	0	
木材・家具	9	22	67	11	11	9	0	89	11	△11	
パルプ・紙	5	0	60	40	△40	5	0	40	60	△60	
化学・プラスチック	37	0	84	16	△16	36	0	89	11	△11	
窯業・土石	9	0	67	33	△33	9	0	67	33	△33	
鉄鋼・非鉄	25	8	68	24	△16	25	4	68	28	△24	
金属製品	17	0	76	24	△24	17	0	76	24	△24	
一般機械	59	7	68	25	△18	58	7	67	26	△19	
電気機械	57	9	58	33	△24	57	7	58	35	△28	
輸送用機械	27	3	78	19	△16	27	3	78	19	△16	
精密機械	12	0	83	17	△17	10	0	70	30	△30	
その他	19	11	68	21	△10	19	10	53	37	△27	
計	316	6	70	24	△18	312	4	71	25	△21	
卸売業	生産財	12	8	25	67	△59	12	8	25	67	△59
	消費財	11	0	64	36	△36	11	18	46	36	△18
	計	23	4	43	53	△49	23	13	35	52	△39
合計	339	6	68	26	△20	335	5	68	27	△22	

### － 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、すべての輸送機関において引き続きマイナスの推移となったが、前期（2011年10～12月）実績と比較すると、すべての輸送機関で改善がみられた。

■ 2012年4～6月の『荷動き指数』見通しについては、外貿コンテナの輸出・輸入において上昇がみられ、輸入ではプラスに転じる見込みである。一方、国際航空では輸出・輸入とも小幅ながら下降する見通しで、荷動きの減退傾向が続くとみられる。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、精密機械など5業種がプラス、食料品・飲料がゼロ水準で、パルプ・紙、窯業・土石など9業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△11で、前期（2011年10～12月）実績からは6ポイントの上昇がみられた。

■ 2012年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、一般機械がマイナスに落ち込み、繊維・衣服および金属製品もゼロ水準まで下降する一方、輸送用機械などでプラス幅が拡大するほか、電気機械などでもマイナス幅が縮小する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は3ポイント上昇して△8と見込まれ、荷動きの減退圧力はやや弱まる見通しである。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	17	18	64	18	0	17	18	64	18	0
	繊維・衣服	11	18	82	0	18	11	18	64	18	0
	木材・家具	10	0	70	30	△30	10	10	70	20	△10
	パルプ・紙	12	0	58	42	△42	12	0	58	42	△42
	化学・プラスチック	63	16	46	38	△22	63	14	59	27	△13
	窯業・土石	18	11	33	56	△45	18	0	50	50	△50
	鉄鋼・非鉄	36	14	53	33	△19	36	16	56	28	△12
	金属製品	18	22	61	17	5	18	28	44	28	0
	一般機械	69	33	42	25	8	68	26	40	34	△8
	電気機械	53	13	51	36	△23	53	21	49	30	△9
	輸送用機械	50	28	52	20	8	49	35	49	16	19
精密機械	12	42	42	16	26	11	46	36	18	28	
その他	28	18	46	36	△18	28	21	50	29	△8	
計	397	20	50	30	△10	394	21	51	28	△7	
卸売業	生産財	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
	消費財	8	0	63	37	△37	8	0	75	25	△25
	計	16	0	69	31	△31	16	0	75	25	△25
合計	413	19	51	30	△11	410	20	52	28	△8	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、精密機械など6業種がプラス、一般機械および生産財卸がゼロ水準で、パルプ・紙など7業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△1で、前期（2011年10～12月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2012年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、一般機械、電気機械、生産財卸がプラスに浮上し、鉄鋼・非鉄もゼロ水準まで戻すことなどにより、業種全体の『荷動き指数』は8ポイント上昇してプラス7と見込まれる。このため、荷動きは下げ止まりから拡大基調へ転換する見通しである。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	18	22	61	17	5	18	22	72	6	16
繊維・衣服	16	19	56	25	△6	16	19	56	25	△6
木材・家具	15	33	47	20	13	15	40	40	20	20
パルプ・紙	10	0	60	40	△40	10	10	70	20	△10
化学・プラスチック	57	11	61	28	△17	57	9	63	28	△19
窯業・土石	18	16	56	28	△12	18	11	61	28	△17
鉄鋼・非鉄	27	11	63	26	△15	27	22	56	22	0
金属製品	17	29	71	0	29	17	35	59	6	29
一般機械	64	22	56	22	0	63	25	51	24	1
電気機械	53	21	51	28	△7	53	38	42	20	18
輸送用機械	52	29	58	13	16	51	45	39	16	29
精密機械	11	45	45	10	35	11	64	27	9	55
その他の	33	24	58	18	6	33	30	55	15	15
計	391	21	57	22	△1	389	28	52	20	8
卸売業										
生産財	14	29	42	29	0	14	29	50	21	8
消費財	14	7	64	29	△22	14	7	64	29	△22
計	28	17	54	29	△12	28	18	57	25	△7
合計	419	21	57	22	△1	417	27	53	20	7

(3) 国際航空 —輸出—

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、輸送用機械および精密機械がプラス、木材・家具がゼロ水準、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△13で、前期（2011年10～12月）実績からは8ポイントの上昇となった。

■ 2012年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、精密機械がマイナスに落ち込み、輸送用機械もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は2ポイント低下して△15と見込まれ、荷動きは減退圧力が若干強まる見通しである。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12	
繊維・衣服	14	0	79	21	△21	14	0	79	21	△21	
木材・家具	2	0	100	0	0	2	0	100	0	0	
パルプ・紙	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25	
化学・プラスチック	40	5	75	20	△15	40	2	83	15	△13	
窯業・土石	8	0	50	50	△50	8	0	63	37	△37	
鉄鋼・非鉄	24	4	67	29	△25	24	4	75	21	△17	
金属製品	18	16	56	28	△12	18	5	67	28	△23	
一般機械	63	17	56	27	△10	63	17	51	32	△15	
電気機械	67	16	47	37	△21	67	12	55	33	△21	
輸送用機械	42	21	62	17	4	41	20	60	20	0	
精密機械	14	29	57	14	15	12	17	58	25	△8	
その他	16	12	69	19	△7	15	13	67	20	△7	
計	320	13	61	26	△13	316	11	64	25	△14	
卸売業	生産財	8	12	38	50	△38	8	12	38	50	△38
	消費財	8	0	75	25	△25	8	0	63	37	△37
	計	16	6	56	38	△32	16	6	50	44	△38
合計	336	13	61	26	△13	332	11	63	26	△15	

(4) 国際航空 —輸入—

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、木材・家具、精密機械、生産財卸の3業種がプラスで、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△12で、前期(2011年10～12月)実績からは2ポイント上昇した。

■ 2012年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、生産財卸がゼロ水準まで下降する以外に大きな動きはみられず、業種全体の『荷動き指数』は弱含み横ばいの推移が見込まれる。この結果、荷動きの減退が続く見通しである。

国際航空による輸入量の実績と見通し

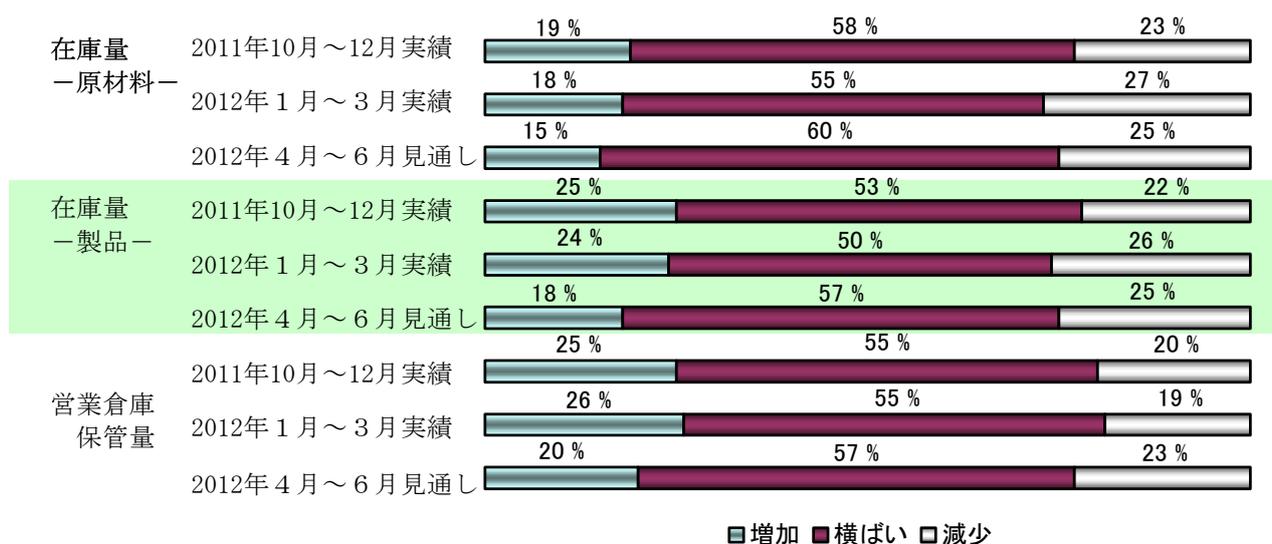
業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	8	0	75	25	△ 25	8	0	75	25	△ 25
	繊維・衣服	13	0	77	23	△ 23	13	0	77	23	△ 23
	木材・家具	2	50	50	0	50	2	50	50	0	50
	パルプ・紙	3	0	67	33	△ 33	3	0	67	33	△ 33
	化学・プラスチック	37	0	84	16	△ 16	37	2	84	14	△ 12
	窯業・土石	8	0	75	25	△ 25	8	0	75	25	△ 25
	鉄鋼・非鉄	19	0	74	26	△ 26	19	0	79	21	△ 21
	金属製品	13	15	62	23	△ 8	13	0	77	23	△ 23
	一般機械	49	12	61	27	△ 15	49	16	55	29	△ 13
	電気機械	57	19	55	26	△ 7	57	19	53	28	△ 9
	輸送用機械	33	12	67	21	△ 9	33	12	64	24	△ 12
	精密機械	11	27	64	9	18	12	33	42	25	8
その他	18	5	67	28	△ 23	17	11	65	24	△ 13	
計	271	10	67	23	△ 13	271	11	65	24	△ 13	
卸売業	生産財	10	30	50	20	10	10	20	60	20	0
	消費財	8	0	75	25	△ 25	8	0	63	37	△ 37
	計	18	17	61	22	△ 5	18	11	61	28	△ 17
合計	289	11	66	23	△ 12	289	11	65	24	△ 13	

#### － 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2012年1～3月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、営業倉庫保管量では『動向指数』がプラスを維持する一方、原材料在庫および製品在庫ではマイナスとなった。前期（2011年10～12月）実績と比較すると、営業倉庫保管量では『動向指数』が若干上昇したが、原材料在庫および製品在庫では低下した。

■ 2012年4～6月の見通しについては、いずれの『動向指数』も悪化し、すべてマイナスに落ち込む。このため、再び在庫圧縮および営業倉庫保管量の削減の方向に進む見通しである。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、食料品・飲料、パルプ・紙、精密機械の3業種がプラス、輸送用機械がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△9で、前期（2011年10～12月）実績からは5ポイント低下した。

■ 2012年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに沈むほか、精密機械もゼロ水準まで落ち込み、プラスの業種は食料品・飲料およびパルプ・紙の2業種となる。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△10と弱含み横ばいで推移し、原材料在庫の圧縮が進むとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	87	22	61	17	5	86	19	67	14	5	
繊維・衣服	42	23	48	29	△6	42	21	55	24	△3	
木材・家具	42	23	48	29	△6	40	12	53	35	△23	
パルプ・紙	40	23	68	9	14	40	18	70	12	6	
化学・プラスチック	110	17	56	27	△10	109	12	64	24	△12	
窯業・土石	38	15	53	32	△17	38	5	71	24	△19	
鉄鋼・非鉄	92	5	69	26	△21	91	16	65	19	△3	
金属製品	45	20	51	29	△9	45	16	62	22	△6	
一般機械	86	22	49	29	△7	87	14	52	34	△20	
電気機械	115	17	51	32	△15	116	15	53	32	△17	
輸送用機械	87	23	54	23	0	87	17	52	31	△14	
精密機械	18	33	39	28	5	18	28	44	28	0	
その他	59	13	53	34	△21	58	10	64	26	△16	
計	861	18	55	27	△9	857	15	60	25	△10	
卸売業	生産財	28	17	54	29	△12	28	18	61	21	△3
	消費財	31	12	65	23	△11	30	6	67	27	△21
	計	59	15	60	25	△10	58	12	64	24	△12
合計	920	18	55	27	△9	915	15	60	25	△10	

## (2) 在庫量 —製品—

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、木材・家具、パルプ・紙など6業種がプラスで、精密機械、その他の製造業など9業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△2で、前期（2011年10～12月）実績からは5ポイント低下した。

■ 2012年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、生産財卸および消費財卸がプラスに浮上する一方、木材・家具、一般機械、輸送用機械がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は5ポイント低下して△7となり、製品在庫は圧縮圧力が強まる見通しである。

### 在庫量（製品）の実績と見通し

業 種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	88	25	53	22	3	87	25	58	17	8	
繊維・衣服	43	35	37	28	7	43	28	47	25	3	
木材・家具	42	36	48	16	20	40	14	58	28	△14	
パルプ・紙	41	34	49	17	17	41	29	56	15	14	
化学・プラスチック	117	26	44	30	△4	116	18	55	27	△9	
窯業・土石	39	26	38	36	△10	39	15	67	18	△3	
鉄鋼・非鉄	91	21	55	24	△3	90	16	62	22	△6	
金属製品	47	23	51	26	△3	47	12	62	26	△14	
一般機械	87	26	49	25	1	88	19	54	27	△8	
電気機械	113	22	47	31	△9	113	14	51	35	△21	
輸送用機械	88	23	56	21	2	86	20	50	30	△10	
精密機械	20	10	55	35	△25	20	10	65	25	△15	
その他	59	13	58	29	△16	58	10	57	33	△23	
計	875	25	49	26	△1	868	18	56	26	△8	
卸売業	生産財	53	22	53	25	△3	53	21	60	19	2
	消費財	40	17	58	25	△8	39	21	62	17	4
	計	93	20	55	25	△5	92	21	61	18	3
合計	968	24	50	26	△2	960	18	57	25	△7	

### (3) 営業倉庫保管量

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『保管動向指数』は、精密機械、その他の製造業、消費財卸の3業種がマイナスで、残り12業種がプラスとなった。業種全体の『保管動向指数』はプラス7で、前期（2011年10～12月）実績からは2ポイント上昇した。

■ 2012年4～6月の『保管動向指数』見通しでは、木材・家具など4業種がマイナスに沈み、生産財卸もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『保管動向指数』は10ポイント低下して△3とマイナスに反転する見込みで、営業倉庫保管量は削減の方向に向かう見通しである。

#### 営業倉庫保管量の実績と見通し

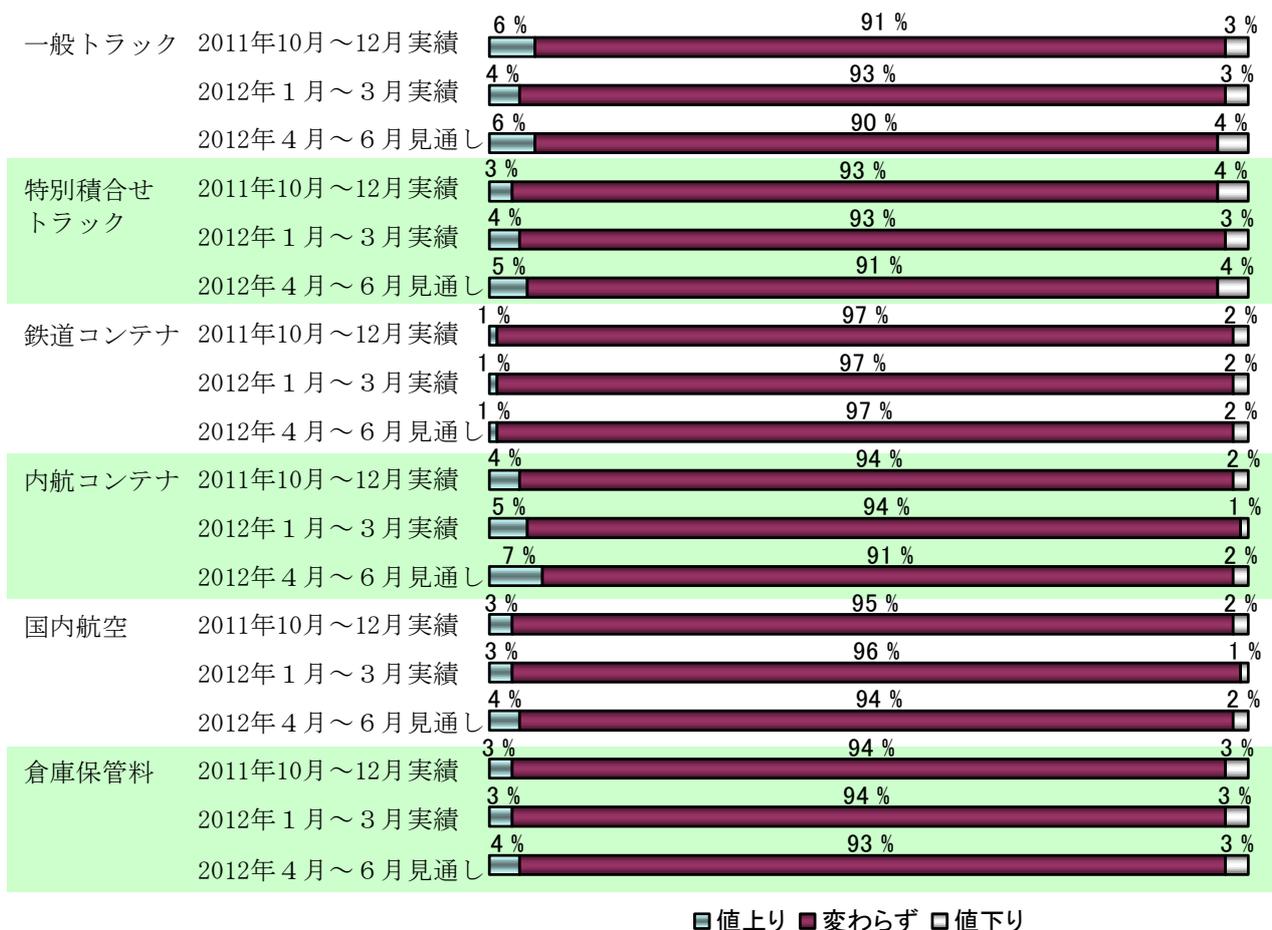
業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	71	31	54	15	16	71	28	59	13	15
	繊維・衣服	23	35	39	26	9	23	26	57	17	9
	木材・家具	26	23	62	15	8	26	8	65	27	△19
	パルプ・紙	34	35	50	15	20	34	21	65	14	7
	化学・プラスチック	99	21	59	20	1	98	17	59	24	△7
	窯業・土石	29	28	55	17	11	29	21	58	21	0
	鉄鋼・非鉄	59	20	70	10	10	59	24	63	13	11
	金属製品	22	32	64	4	28	21	14	76	10	4
	一般機械	65	32	53	15	17	65	23	51	26	△3
	電気機械	78	26	50	24	2	79	29	42	29	0
	輸送用機械	56	27	52	21	6	56	25	46	29	△4
	精密機械	15	27	40	33	△6	13	0	69	31	△31
	その他	44	25	45	30	△5	44	16	52	32	△16
計	621	27	54	19	8	618	22	56	22	0	
卸売業	生産財	43	28	49	23	5	43	21	58	21	0
	消費財	32	3	72	25	△22	32	6	69	25	△19
	計	75	17	59	24	△7	75	14	63	23	△9
合計	696	26	55	19	7	693	20	57	23	△3	

## － 5. 運賃・料金の動向－

■ 2012年1～3月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、内航コンテナでプラス4となる以外は、残りすべての機関でゼロ水準±2の範囲内に収まり、概ね現状維持の傾向が強い。前期（2011年10～12月）実績との比較では、『動向指数』は小幅の変化で推移した。

■ 2012年4～6月の『動向指数』見通しについては、内航コンテナではプラス5と運賃はやや上昇方向に動くが、その他の機関では『動向指数』が引き続きゼロ水準±2の範囲内にとどまり、総じて運賃・料金水準の大幅な変動は見込めない。

運賃・料金の実績と見通し



## (1) 一般トラック運賃

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、一般機械など9業種がプラスで、生産財卸など6業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期(2011年10～12月)実績からは2ポイント低下した。

■ 2012年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、繊維・衣服がプラスに浮上し、電気機械もゼロ水準まで戻す。一方、輸送用機械および消費財卸がマイナスに落ち込むほか、その他の製造業もゼロ水準まで下降する。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2と強含み横ばいの推移が見込まれ、運賃水準は緩やかな上昇が続く見通しである。

### 一般トラック運賃の実績と見通し

業 種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	101	5	94	1	4	100	7	91	2	5
繊維・衣服	40	0	98	2	△2	39	10	87	3	7
木材・家具	43	5	93	2	3	43	14	84	2	12
パルプ・紙	43	5	88	7	△2	43	5	86	9	△4
化学・プラスチック	119	3	96	1	2	118	7	92	1	6
窯業・土石	39	5	92	3	2	39	5	92	3	2
鉄鋼・非鉄	98	6	92	2	4	97	9	89	2	7
金属製品	50	6	84	10	△4	50	4	90	6	△2
一般機械	96	9	90	1	8	95	5	93	2	3
電気機械	116	2	94	4	△2	115	4	92	4	0
輸送用機械	90	8	87	5	3	87	8	78	14	△6
精密機械	19	0	95	5	△5	18	0	94	6	△6
その他	58	5	93	2	3	56	4	92	4	0
計	912	5	92	3	2	900	7	89	4	3
卸売業										
生産財	53	0	91	9	△9	53	2	89	9	△7
消費財	45	2	98	0	2	45	2	94	4	△2
計	98	1	94	5	△4	98	2	91	7	△5
合計	1,010	4	93	3	1	998	6	90	4	2

## (2) 特別積合せトラック運賃

- 2012年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、その他の製造業など6業種がプラス、鉄鋼・非鉄など5業種がゼロ水準で、パルプ・紙など4業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期（2011年10～12月）実績からは2ポイント上昇した。
- 2012年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、木材・家具など3業種がプラスに浮上し、窯業・土石もゼロ水準まで戻す一方、精密機械など3業種がマイナスに落ち込む。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移し、運賃水準には大きな変化がないものとみられる。

### 特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	70	6	90	4	2	69	7	90	3	4
繊維・衣服	32	3	97	0	3	32	9	91	0	9
木材・家具	31	0	97	3	△3	31	10	87	3	7
パルプ・紙	27	0	89	11	△11	27	0	85	15	△15
化学・プラスチック	101	3	96	1	2	100	6	94	0	6
窯業・土石	27	4	89	7	△3	27	4	92	4	0
鉄鋼・非鉄	59	2	96	2	0	59	5	93	2	3
金属製品	36	3	94	3	0	36	3	94	3	0
一般機械	80	8	90	2	6	78	5	94	1	4
電気機械	95	3	94	3	0	95	3	95	2	1
輸送用機械	67	9	85	6	3	65	8	74	18	△10
精密機械	9	11	78	11	0	9	0	89	11	△11
その他	42	7	93	0	7	41	7	91	2	5
計	676	4	93	3	1	669	6	90	4	2
卸売業										
生産財	43	5	90	5	0	43	2	93	5	△3
消費財	29	0	97	3	△3	29	0	97	3	△3
計	72	3	93	4	△1	72	1	95	4	△3
合計	748	4	93	3	1	741	5	91	4	1

### (3) 鉄道コンテナ運賃

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石、一般機械、輸送用機械の3業種がプラス、食料品・飲料など8業種がゼロ水準で、精密機械など4業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期（2011年10～12月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2012年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがプラスに浮上する一方、電気機械がマイナスに沈み、窯業・土石もゼロ水準まで下降する以外に大きな動きはみられず、業種全体の『運賃動向指数』も横ばいでの推移が見込まれる。この結果、運賃水準はいくぶん弱含む見通しである。

#### 鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	49	0	100	0	0	48	0	100	0	0
	繊維・衣服	16	0	94	6	△6	16	0	94	6	△6
	木材・家具	19	0	100	0	0	19	0	100	0	0
	パルプ・紙	29	0	93	7	△7	29	0	93	7	△7
	化学・プラスチック	84	0	100	0	0	83	1	99	0	1
	窯業・土石	12	8	92	0	8	12	0	100	0	0
	鉄鋼・非鉄	39	0	100	0	0	39	0	100	0	0
	金属製品	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0
	一般機械	40	5	95	0	5	40	5	95	0	5
	電気機械	37	0	100	0	0	35	0	97	3	△3
	輸送用機械	35	6	91	3	3	34	9	85	6	3
	精密機械	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17
	その他	26	4	88	8	△4	26	0	92	8	△8
計	412	1	97	2	△1	407	1	97	2	△1	
卸 売 業	生産財	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
	消費財	19	0	100	0	0	19	0	100	0	0
	計	30	0	100	0	0	30	0	100	0	0
合計	442	1	97	2	△1	437	1	97	2	△1	

#### (4) 内航コンテナ運賃

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、パルプ・紙など9業種がプラス、窯業・土石など3業種がゼロ水準で、精密機械など3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス4で、前期（2011年10～12月）実績からは2ポイント上昇した。

■ 2012年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、窯業・土石がプラスに浮上し、鉄鋼・非鉄のプラス幅が拡大する以外に大きな動きはみられない。業種全体の『運賃動向指数』はプラス5と強含み横ばいで推移し、運賃水準の上昇圧力が若干強まるとみられる。

#### 内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	30	0	97	3	△3	30	0	97	3	△3
繊維・衣服	10	10	90	0	10	10	10	90	0	10
木材・家具	12	8	92	0	8	12	8	92	0	8
パルプ・紙	16	19	81	0	19	16	19	81	0	19
化学・プラスチック	44	2	98	0	2	43	2	98	0	2
窯業・土石	8	0	100	0	0	8	12	88	0	12
鉄鋼・非鉄	23	4	96	0	4	23	13	87	0	13
金属製品	15	7	93	0	7	15	13	80	7	6
一般機械	38	3	97	0	3	38	3	97	0	3
電気機械	29	14	86	0	14	29	14	86	0	14
輸送用機械	24	4	96	0	4	24	8	88	4	4
精密機械	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25
その他	22	0	95	5	△5	22	5	86	9	△4
計	275	5	94	1	4	274	7	91	2	5
卸売業										
生産財	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
消費財	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
計	16	0	100	0	0	16	0	100	0	0
合計	291	5	94	1	4	290	7	91	2	5

## (5) 国内航空運賃

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具など4業種がプラス、食料品・飲料など8業種がゼロ水準で、精密機械など3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期（2011年10～12月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2012年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、食料品・飲料および化学・プラスチックがプラスに浮上する一方、輸送用機械がマイナスに落ち込み、一般機械および精密機械でも若干悪化する以外に動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移し、運賃水準は緩やかな上昇基調が続くとみられる。

### 国内航空運賃の実績と見通し

業 種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	26	0	100	0	0	26	4	96	0	4
	繊維・衣服	14	0	93	7	△7	14	0	93	7	△7
	木材・家具	8	12	88	0	12	8	12	88	0	12
	パルプ・紙	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
	化学・プラスチック	39	0	100	0	0	38	8	92	0	8
	窯業・土石	9	11	89	0	11	9	11	89	0	11
	鉄鋼・非鉄	23	0	100	0	0	23	0	100	0	0
	金属製品	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0
	一般機械	58	7	93	0	7	57	5	93	2	3
	電気機械	59	2	95	3	△1	59	2	95	3	△1
	輸送用機械	27	0	100	0	0	27	0	96	4	△4
精密機械	12	0	92	8	△8	11	0	91	9	△9	
その他	20	5	90	5	0	20	5	90	5	0	
計	317	3	96	1	2	314	4	94	2	2	
卸 売 業	生産財	9	11	89	0	11	9	11	89	0	11
	消費財	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
	計	20	5	95	0	5	20	5	95	0	5
合計	337	3	96	1	2	334	4	94	2	2	

## (6) 営業倉庫保管料金

■ 2012年1～3月実績（見込み）の『料金動向指数』は、繊維・衣服など6業種がプラス、化学・プラスチックなど5業種がゼロ水準で、精密機械など4業種がマイナスを示した。業種全体の『料金動向指数』はゼロ水準で、前期(2011年10～12月)実績からは横ばいで推移した。

■ 2012年4～6月の『料金動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄など4業種がプラスに浮上し、精密機械など3業種もゼロ水準まで戻す一方、一般機械がマイナスに落ち込み、パルプ・紙もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『料金動向指数』はプラス1と強含み横ばいで推移し、料金水準は緩やかに上昇する見通しである。

### 営業倉庫保管料金の実績と見通し

業 種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	55	2	98	0	2	55	4	96	0	4
	繊維・衣服	20	10	90	0	10	20	10	90	0	10
	木材・家具	20	5	95	0	5	20	5	95	0	5
	パルプ・紙	30	7	90	3	4	30	7	86	7	0
	化学・プラスチック	94	3	94	3	0	92	3	95	2	1
	窯業・土石	21	0	95	5	△5	21	0	90	10	△10
	鉄鋼・非鉄	50	2	96	2	0	49	4	94	2	2
	金属製品	20	5	95	0	5	20	5	95	0	5
	一般機械	62	5	90	5	0	62	1	94	5	△4
	電気機械	68	3	94	3	0	69	4	93	3	1
	輸送用機械	55	4	92	4	0	54	7	87	6	1
精密機械	11	0	91	9	△9	11	9	82	9	0	
その他	41	2	93	5	△3	41	2	96	2	0	
計	547	3	94	3	0	544	4	93	3	1	
卸 売 業	生産財	31	6	94	0	6	31	13	87	0	13
	消費財	26	0	96	4	△4	26	0	100	0	0
	計	57	4	95	1	3	57	7	93	0	7
合計	604	3	94	3	0	601	4	93	3	1	

## － 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2012年1～3月実績（見込み）の『動向指数』は、その他の製造業が唯一マイナスを示し、金属製品など3業種がゼロ水準で、残り11業種がプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス5で、前期（2011年10～12月）実績からは3ポイント低下した。

■ 2012年4～6月の『動向指数』見通しでは、精密機械、生産財卸など4業種がマイナスに落ち込む。この結果、業種全体の『動向指数』は3ポイント低下してプラス2となり、増勢は弱まるものとみられる。

### 物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2012年1月～3月実績					2012年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降		
食 料 品 ・ 飲 料	99	23	65	12	11	98	18	68	14	4	
繊 維 ・ 衣 服	48	17	69	14	3	48	19	67	14	5	
木 材 ・ 家 具	44	14	77	9	5	44	16	73	11	5	
パ ル プ ・ 紙	43	21	70	9	12	43	19	74	7	12	
化学・プラスチック	118	19	72	9	10	117	20	71	9	11	
窯 業 ・ 土 石	41	22	59	19	3	41	29	61	10	19	
鉄 鋼 ・ 非 鉄	99	16	71	13	3	98	17	68	15	2	
金 属 製 品	53	19	62	19	0	53	11	70	19	△ 8	
一 般 機 械	97	24	61	15	9	97	22	62	16	6	
電 気 機 械	126	23	58	19	4	126	21	58	21	0	
輸 送 用 機 械	95	18	64	18	0	94	19	57	24	△ 5	
精 密 機 械	21	14	72	14	0	19	11	68	21	△ 10	
そ の 他	59	17	64	19	△ 2	59	13	63	24	△ 11	
計	943	20	66	14	6	937	19	65	16	3	
卸 売 業	生 産 財	58	16	72	12	4	58	9	72	19	△ 10
	消 費 財	44	14	75	11	3	44	16	80	4	12
	計	102	15	74	11	4	102	12	75	13	△ 1
合 計	1,045	19	67	14	5	1,039	18	66	16	2	